眠音（ねおん）

季刊［Neon］Vol.34　2015 Summer

特別号

gamadan ／ガマダン

日々、新しい目覚め。

眠音
ねおん
Vol.34
Summer

2015年8月11日発行　発行・編集人／田中和昭　発行所 〒921-8032 金沢市清川町1-1　☎076-280-4800
本書の全部または一部を無断で複写することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。© Ishitaya Co.,Ltd.
http://www.ishitaya.com　Printed in Japan　定価300円　税別

石田屋
www.ishitaya.com

1-1 Kiyokawa Kanazawa　Phone:076-280-4800
〒921-8032 Ishikawa Japan　FAX:076-280-4400

石田屋　検索

gamadan／ガマダン
誕生に際して

gamadan／ガマダンは目覚めがテーマです。
目覚めには、朝の気持ちよい目覚め、自己の目覚め、
人生の目覚め…
いろいろな目覚めがあります。

価値ある人生をパワフルに生きている人たちには、
これまで以上に素敵な人生を送り続けてほしい。
gamadan／ガマダンでは、
そのためのお手伝いができたらと考えております。

他人まかせにはせず、
自分自身の奥深くに持っている答えを
しっかりと受け止め、その答えに従って自分自身を大切に扱い、
価値ある人生を生き抜く。

そうした感性を大切にしている人々は隣人にも優しく、
いつも心が満たされている。
私たちはそうした人々と、
いつも一緒に過ごしたいと思っています。

同じ感性を持つ人々が楽しく集う場として、
gamadan／ガマダンを皆様と共に育てて行きたいと
スタッフ一同考えております。

我が家に帰るように、
気軽に立ち寄っていただければ幸いです。

株式会社石田屋
代表取締役社長
田中佳美

gamadan／ガマダンを作った人々

写真／藤森祐治
坂下智広

gamadan／ガマダンは、寝具ショップ＆体験型ショールーム、ダイニング、フラワーショップが一つになった、これまでにない店舗です。

睡眠のみならず、建築や作庭、音響、食等の「気持ち良い」を、五感で感じていただく場です。

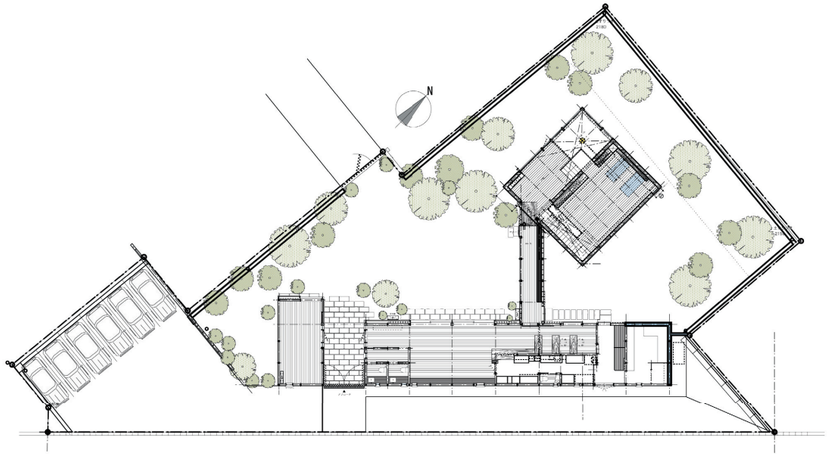
素材は天然のシンプルで美しいもの。

gamadan／ガマダンに来られる時は、無垢材の気持ち良さを素足で感じていただくために、靴を脱いでいただきます。そして裸の心と体でどうぞ。

そして、目から、鼻から、口から、耳から、心から。

今まで知らなかった、知らないことすら知らなかった「気持ち良い」を体験するお店として、gamadan／ガマダンはオープンしました。

ガマダン



gamadan／ガマダン建設の指揮を執って下さったのは、数寄屋建築をベースとした木造建築で知られる、京都の株式会社三角屋・三浦史朗さんです。縁あって、めいてつエムザのA・UN店の内装をお願いしたのが出会いです。三浦さんが中村外二工務店を独立して間もない頃のことでした。その後、犀川店の建設をお願いした頃には、朝比奈親方を迎えて三角屋となり、新たなスタートを切っておられました。あれから10年。三角屋さんは10年越しというスケールの大きなプロジェクトを手掛けるなど、国内外に活躍の場を広げてきました。

「犀川店は、僕らが得意とする京都らしさを全面に出した建築でしたが、10年ぶりとなる旗艦店gamadan／ガマダンのオーダーは、以前とは全く異なる世界観を求められました。お互いに、この10年がなければ実現しなかったことが、この現場で、絶妙のバランスで結実しています。今回は、金沢という土地との結びつきを強いものにしようと、工芸作家さんたちの作品を建築に取り入れました。工芸というのは、決して床の間に飾っておくだけのものではないし、金沢という街になら、もっと建築と一体になったものがあってもいいのかな、と思ったのです。僕たちが大事にしている、建築や庭や家具や、そういったものたちが境界なく同じ感覚で繋がっていく。そういうものを目指して造りました」

統括

この10年を経なければ、実現しえなかった店舗づくり。

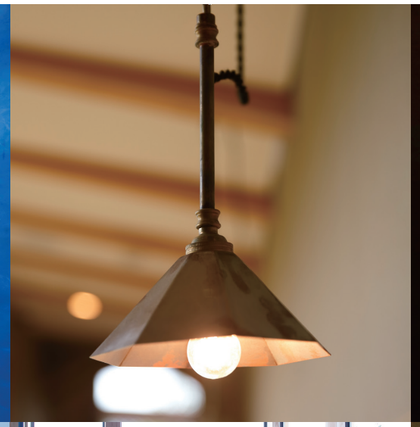
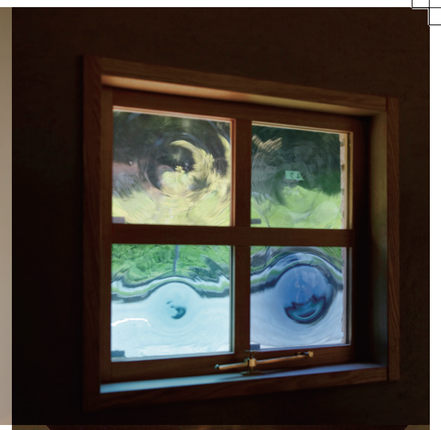
株式会社 三角屋

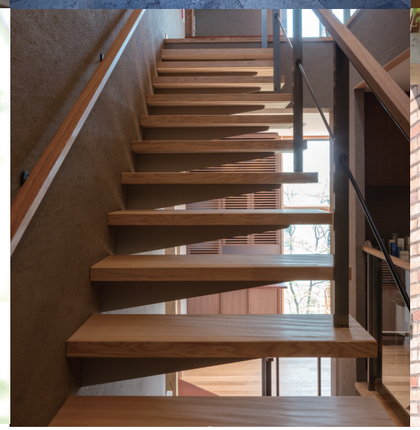
三浦史朗さん

みうら・しろう

株式会社 三角屋（さんかくや）　朽木工場　〒520-1421　滋賀県高島市朽木岩瀬川原731
電話／0740-38-8068　FAX／0740-38-8069

本社　〒606-0826　京都市左京区下鴨西本町2
電話／075-706-1070　FAX／075-706-1071
メール／info@sankaku-ya.jp



設計

株式会社 三角屋

吉原雅人さん

MasatoYoshihara

いろんな偶然や縁が重なり、新しいものが生まれた現場。

料理にレシピがあるように、建築に欠かせないのが図面です。今回、gamadan／ガマダンの立地条件や敷地条件を踏まえた上で、石田屋の要望をカタチにするため、実際にデザイン設計を手掛けて下さったのは三角屋の吉原雅人さんです。金沢の現場と京都のオフィス、滋賀の工場との間を何度も往復し、終盤にはgamadan／ガマダンに張り付いての細かな調整。あらゆる不測の事態に対処しながら、司令塔として奮闘して下さいました。

「最初にgamadan／ガマダン建設の一報を受けたのは、僕がオマーンの現場にいた時でした。（イスラム）というお題をいただき、不思議な巡り合わせを感じましたね。ダイニング棟のアーチ状の屋根や、3層吹き抜けのブルーの壁などは石田屋さんの希望も取り入れながらですが、とても象徴的なものになったと思います。いろんな選択肢の中から最もよいものを選び、会長も社長も妥協するどころか、さらにその上を求めてこられる。その分、提案のしがいもありました。普通、経営者が二人いる場合、二方が夢を追い求めると、もう片方が現実的になるものですが、石田屋さんの場合は、社長も会長もドリーマー（笑）　こんな楽しい現場は滅多にありません」

監督

株式会社 豊蔵組

洲﨑典英さん

Norihide Susaki

困難で大変な現場には、それに相応しい喜びが伴うもの。

良い現場には、良い監督がいます。前後左右に勾配のある土地に建設されたgamadan／ガマダンの工事は、決して平易なものではありませんでした。施工管理を担当して下さった株式会社豊蔵組の洲﨑典英さんは、常に先々を見通し、抜群の調整力で現場を動かして下さいました。

「うちの会社は、公共建築を手掛けることが多いのですが、元々は鳶・土工の会社から総合建設業になったという背景があります。今回は大掛かりな土地改良もありましたので、そういう点も見て任せて下さったのかな、と感謝しています。

ずっとこんな仕事をしていると、平面図を見ると建物が3Dになって見えてくるものですが、今回はそれを処理するのに少し時間がかかりました。でも難しいからこそ、楽しい。本来、僕らは黒子で主役は施主さんですが、この現場は黒子も楽しませてくれる現場でした。

また、我々の仕事は、安全、工程、コスト、品質の4本を柱として成立していますが、今回はそれにも増して関わる人の種類も多く、ピーク時には1日40人ぐらいの職人さんが出入りしていました。10月ぐらいから本格的に建設が始まり、ほぼ毎日張り付いてきましたが、終盤は、毎日が峠越えでした（笑）」

gamadan／ガマダンを作った人々

gamadan／ガマダンに散りばめられた職人技の中でも、最も象徴的な仕事の一つが、大きな石が幾つも配置された庭です。戦国時代からの技術を受け継ぐ石垣・石積みのプロ、株式会社穴太（あのう）の柿阪大介さんは、金沢城城郭の石垣修復に携わった経験もある石工職人。体よりも大きな石を何度もクレーン車で運び入れ、慎重に無駄なく石を積み上げていく様は圧巻の一言でした。

「今回は石積みや土留めだけではなく、石を庭の中でどう活かしていくかを考えました。地元の戸室石だけでも60トンほど入っていますが、戸室石は比較的柔らかく加工しやすい石なので、gamadan／ガマダンの雰囲気にもあっていると思います。石切り場で切り出し、一度、仮組させてもらってから、実際の設置に入りました。僕にとってはこの石の階段こそが〈ガマ段〉です〈笑〉」

普段は、寺院や城郭など、文化財の石垣修復などで長期に渡り全国各地へ出向いて行う仕事が多いという柿阪さんは、歴史や古い建造物に対する造詣も深く、石好きでもある田中会長と話に花を咲かせる場面もありました。仕事をする眼差しは真剣な一方で、雨が降っても足元がぬかるんでも、石と向き合う姿は常にイキイキと輝いていました。

石工

株式会社穴太

柿阪大介さん

Daisuke Kakisaka

この土地の石を、どのように庭に位置づけるかを考えました。

造園

有限会社　和想

西之園裕二さん

Yuji Nishinosono

ヒントもインスピレーションもすべて自然の中から生れる。

ランドスケープ・デザインを担当した和想デザインの西之園裕二さんは、設計デザイン、スケッチ、プレゼンテーション、見積、施工計画、樹木探し、現場まで、すべてが出来るスペシャリスト。近畿関西地方はもちろん、関東や地方の各地へ赴いています。本来、内と外、建築と植栽とは一体のものであるとの考えにより、gamadan／ガマダンの建物の周囲に様々な樹木や草花、石を添わせることで、街並みの中に自然に溶け込んだ空間を作り上げて下さいました。

「建物の設計段階から三角屋さんには声をかけていただき、雪に覆われた季節に現場確認に来て、地形や落差（勾配）について把握し、どうしたら魅力的な空間、動線になるか、最終形のイメージが見えました。正面玄関のアーチの向こう側に植えた桜や、ダイニングから見えるヤマボウシやソロのほか、栗や柿など実をつける樹もあります。季節によって移り変わる風景を楽しんでいただけると嬉しいですね」

現場に入るとなりふり構わなくなるという西之園さんは、プレゼンのために金沢入りしたときとは別人のように伸びた髪や髭を気にする様子もなく、短期集中で行われた現場仕事も楽しんでいました。

音響

それぞれのスピーカーが、
違う音を出せるようマルチチャンネルに。

株式会社サウンドクリエイト
宮内晃平さん
Kohei Miyauchi

ミュージシャンのライブコンサートの音響を手掛ける株式会社サウンドクリエイトの宮内晃平さんは、普段はアーティストと共に全国各地を飛び回り、複雑な回線や多くのマイクをコントロールしています。そんな音響のプロによってgamadan／ガマダンのオーディオシステムはデザインされました。

「複数のブランドのデモ機を持ち込み、実際に音を聞き比べていただいたところ、〈RCF〉というイタリアのスピーカーが採用されました。まだ日本ではシェアが低いですが、本国やヨーロッパ圏内では有名なブランドです。シーリングスピーカーの種類、デザイン、ラインナップも豊富なので、天井高や壁の素材、陳列される商品などが空間ごとに異なるgamadan／ガマダンのような場所には最適じゃないでしょうか。いずれはレストランでのライブも可能なシステムを組みました。一つのショップでこれほどのクオリティの音響システムを導入するのは初めてです。僕自身にとっても新しい挑戦となりました」

天井にクロスが張られ、商品の陳列が終わるのを見計らい、音の反響や吸収を丁寧に見極めながら、チューニング作業は行われました。

左官

ペンキの塗装では出ない
質感と、青色にこだわって。

齋藤左官
齋藤剛史さん
Tsuyoshi Saito

ギャラリー棟の地下1階から2階までの三層の吹き抜け空間を彩る青く美しい壁は、gamadan／ガマダンの象徴の一つ。この壁は三角屋さんが仕事を依頼した左官職人の齋藤剛史さんの指揮によって、すべて手作業で仕上げられました。

「この壁は、総勢8人の職人が1週間かけて塗りました。漆喰にきめの細かい石灰を混ぜ、色は一旦、薄い水色の下塗りをした上に、少し緑がかった濃い青色を重ねてあります。金沢には、江戸時代から弁柄の赤い壁や群青の壁の部屋がありますが、石田屋さんのオーダーは鮮やかなウルトラマリンブルーでした。しかも立体感や厚みを感じてもらうための色ムラも必要で、それでいてフラットで、最終的には磨きをかけて艶を出すという仕上げが求められました。作業によっては、朝から始めて陽が昇る昼頃までには終了しなければならないものもありました。1坪とか2坪の小面積であれば1人ですべてできますが、今回は地階と1階から天井まで足場が組まれている一時のうちに仕上げなければならず、初めての経験でしたが、なんとかここまで持ってきました」

単なる塗装とは一線を画した、職人の技と息使いが残る美しい壁は、空間に瑞々しさを与えています。

ロゴ・デザイン

ロゴ･デザインのイメージは
自らの手の中から探って。

デザインとコミュニケーション
小川晋平さん
Shimpei ogawa

店名のgamadan／ガマダンには、どんな意味があるのか。オープンしてからも多くの方々から質問を受けますが、実は、蒲團（ふとん）という言葉の読み違えから生まれた「音」なのです。より良い眠りも、目覚めも、健やかな心身に宿るということを考えたとき、この場所は、何にもしばられない空間であることが望ましいと感じたのです。

店名のロゴ･デザインを手掛けて下さった、デザインとコミュニケーションの小川晋平さんは、そんな私たちの思いを、見事、具現化してくださいました。

「当初、コンペのお話をいただいた時には、欲しいデザインの方向性や具体的な要望は何もありませんでした。抽象的な文章が送られてきただけ（笑）　人の気持ちとか、季節の移り変わりだとか、カタチのないものが散りばめられていました。石田屋さんが求めているものは、そうしたカタチのないものの先にあるものなのかな、と思い、今回は自らの手で筆をとり、線を探し、ビジュアルを探っていくという作業をしました。アナログで、人の手によって作られた感じを大切にしたかったのです。結果的に採用されたのは、布団にもぐった〈人〉のシルエットをイメージして作ったものでした」

対談　『三角屋』朝比奈秀雄 × 『石田屋』田中和昭

「材料のこと、建築のこと、もの作りのこと」

三角屋　朽木工場にて

gamadan／ガマダン建設途中には、滋賀県朽木にある三角屋さんの工場も訪れました。広い敷地には、屋内外に広がる材料置き場と、仮組作業や木工作業が行える工場スペースがあり、事務所も新たに建設中でした。石田屋の田中会長は、現地を案内して下さった三角屋の朝比奈親方と、建築や店づくりについて語らいました。

田中　原木や材木の数も凄いですが、東大寺の礎石や後漢時代の石など、千年、二千年前の石が、しかも国を越えて集まってきているというのも凄いですね。

朝比奈　材料というのは、お金を積んでも手に入らないものがあるし、やっぱり縁のもんやね。古いものを壊して処分に困っているところから話があると、もったいないから貰っておきます（笑）　いい材料はなくなっていく一方やからね。

田中　今は材料を見立てることができる人も、使いこなすことができる人も少なくなっているように思います。うちは三角屋さんのおかげで、犀川店にもいい材料をたくさん使っていただいていますし、gamadan／ガマダンでも多くの本物の木と石を使っていただきました。

朝比奈　犀川店は、三角屋として最初の頃の仕事で、この工場で屋根の仮組もしましたね。1階に入れてある大きな栃の木の台は、樹齢700年、2階の吉野杉のテーブルは樹齢360年。今、材木屋さんに持って行っても驚かれるような逸品ですよ。

田中　gamadan／ガマダンの材料出しも、すべて親方が行って下さったようですね。

朝比奈　設計図が出た段階で、イメージに合う木を選ぶんですが、今回は広葉樹をたくさん使いました。洋風の建物には洋風の木があうかな、と思って。階段に使っている白っぽい無垢材はモミの木で、板目ではなく柾目を使っています。なかなか贅沢ですよ。

田中　ダイニングやショップの床板なども、随分しっかりした材料を使っていただいていますが、厚みのある木材というのは歩くとわかりますね。

朝比奈　ベニヤなんかは、なんぼ厚うしても厚みは感じません。薄い板は見た目ではわからんでも歩くとわかるもんです。今の建築は色や恰好でそれをごまかしているものが多いけど、そういうもんは飽きてくる。時間とともに味が出てくるという感じがない。本物の材料の使い方、活かし方をみんな知らへんねん。例えば、古い木材に新しい石は合わないし、逆に石が古くて木材が新しくてもだめ。今の建築は軽くなってきてる。日本建築とか、木造建築じゃなくて、木を使っているというだけの建築やね。

田中　布団も一緒かもしれません。材料にも良し悪しがあって、本当の、本物の材料を使って、最高の状態で活かせば、自ずと品物は良くなるものです。そういうことを伝えて、実感してもらって、健康や環境のためにも、本物を選んでいってくださる方が増えることが、石田屋の喜びでもあるし、gamadan／ガマダンの使命でもあると思っています。

阿吽の呼吸で繰り広げられる二人の会話は、安土桃山時代の歴史の話に始まり、日本各地の城の話、神社仏閣の話に至るまで、実に多岐に渡りました。本物を知り、本物を提供し続けている二人だからでしょうか、材料のことや、もの作りの話になると、とりわけ熱く共感しあっているようでもありました。

株式会社 三角屋　代表取締役社長
朝比奈秀雄（あさひな・ひでお）
1953年年滋賀県出身。大阪芸術大学建築科を卒業後、京都の中村外二工務店に入る。数寄屋建築の名棟梁として知られた中村外二氏の元で仕事を覚え、やがて番頭格として後人の指導育成にも携わるようになる。2006年株式会社三角屋立ち上げに参画。代表取締役社長となる。

株式会社 石田屋　代表取締役会長
田中和昭（たなか・かずあき）
1955年石川県出身。ふとん屋を生業とする株式会社石田屋の3代目として誕生。取締役専務、社長を経て、現在は取締役会長として国内外を飛び回る。「良質な睡眠は人の健康を創る」をモットーに、商品開発や人材教育、店舗開発、市場創造などを仕掛ける。

Dining

gamadan／ガマダン
ダイニングのこと、ショップのこと

gamadanダイニングでは七十二候の「めぐり飯」を。

これまで石田屋は、A・UN店でカフェを併設した店舗を持っていましたが、さらに今、gamadan／ガマダンは新たにダイニングとして親しんでいただける店舗となりました。福井雅博シェフによる身体に優しいフレンチベースの料理は、楽しい語らいの場に最適です。少人数のパーティなど、貸切ダイニングとしてもご利用いただけるスペースとなっています。

gamadan／ガマダンでは、食事を通して本当に健やかで豊かな毎日を送るために大切なことを、感じていただきたいと考えているのです。北陸には四季があり、豊かな山海の幸にも恵まれています。しかし、季節の「はしり」や「旬」や「なごり」を感じさせる食事は、いつの間にか手軽さにとってかわられてしまい、日々の暮らしの中では存在感が薄くなっています。

そこで、gamadan／ガマダンでは、質の良い眠りが健やかな目覚めをもたらし、豊かな発想や思考を支えるように、食事を通して、日本人が古くから親しみ味わってきた、季節の移ろいや旬のおいしさを提供していきたいと考えたのです。

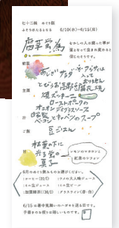
福井シェフはフレンチ畑の出身ですが、体調を崩された経験から、本当に身体によい食事や、細かなオーダーに応えられるだけの技術を備えています。

5日ごとに移ろう季節をとらえた「七十二候」の考え方を取り入れた「めぐり飯」をランチの中心に据えているのは、人が備えている繊細な感性を呼び覚ますため。私たちの身体は、食べたもので出来ています。眼でも舌でも美しい季節が味わえるgamadanダイニングの「めぐり飯」は、フレンチとか、和食とかいうカテゴライズが難しい、身体の隅々にまで染み渡る、五感で楽しむ健康ご飯なのです。

石川　藍

刻々と移りゆく季節の模様を、おいしい料理で楽しく感じてもらえるように。明るい笑顔で皆様をおもてなししたいと思います。

デザートも、彩り美しく愛らしく。第二六候の「蛍」に見立てたレモン味のマカロンも評判に。



gamadanダイニングを代表する人気ランチメニュー「めぐり飯」は、テーマに合わせた食材選びや調理法、盛り付けも楽しみの一つ。手書きメニューも好評。

高倉奈緒

春には春の光を、夏には夏の食を。秋には秋の眠りを、冬には冬の音を。朝ごと、空ごと、雨粒ごと。ここでたくさんの方と感じていきたいです。

前菜は見た目もボリュームも満点。季節の野菜を種類豊富にたっぷりと使ったサラダは女性に大人気。

福井雅博

心地のいい時間を、和流のお料理で楽しんでいただけるように、私自身も楽しみたいと思っています。

松村　忠

爽やかで清々しいひとときを一緒に過ごしましょう。

Shop

gamadan／ガマダン
ダイニングのこと、ショップのこと

gamadanショップでは、極上の寝具を体感して。

大道めぐみ

睡眠のみならず、人生を豊かに過ごすためのいろいろを提案します。目覚め、気づき、刺激、いつも新しくやっていきます。

石田屋は、どこから切ってもふとん屋さんです。それはgamadan／ガマダンでも同じこと。旗艦店として、石田屋が扱うすべての布団を揃えているショップでもあります。

眠りのこと、寝具のこと、寝室のことはもちろん、意外と知られていない材料の品質のこと、世界標準の流通に関する情報、寝具のケアの仕方、眠りと光との関係についてなど、眠りのプロとして、健やかな眠りと暮らしのために大切に考えて欲しいことを、丁寧に伝えていきたいと考えています。

見て、触れて、感じていただくだけではなく、実際の寝具を使った睡眠体験もしていただけます。

ベッドやマットレス、敷きパッド、布団の素材やボリュームが変わると、人はどのように感じるのか。自分にとって最適な心地よさを、納得いくまで探すことができる場所でもあるのです。

眠りの質と寝具の関係性を追求しているうちに、寝室の環境についても提案できるようになり、今では寝室のリフォーム相談を受け、実際に施工を手掛けるまでになっています。

眠りというのは、寝具だけではなく、気温や湿度、部屋の向き、窓からの採光の有無、眠るまでの時間の過ごし方など、様々なものの影響を受けます。逆に、それらを深く知り、眠る環境を整えることによって、清々しい目覚めと、躍動的な一日を手に入れることができるのです。

人が変われば、最適な寝具も変わります。gamadanショップでは、眠りのプロたちが、その人その人に応じた「目覚め」のために、様々な提案とお手伝いをしていきたいと考えています。

篠原加奈子

気持ちの良い空間で、一人でも多くの方の心地よい眠りのお手伝いができると嬉しいです。

八木勢津子

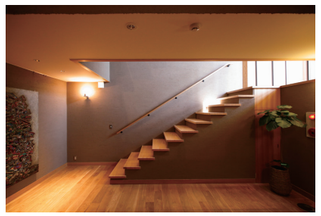
グゥと眠ってパチッと目覚める。理想の眠りがもてますように。睡眠のお悩みを一緒に解決していけたら嬉しく思います。

2F

2階には、様々な種類の布団の組み合わせを展示。石田屋が取り扱うすべての寝具を揃えているgamadan／ガマダンでは、あらゆる布団、マットレスや枕、ベッドパットなどを試すことができます。横段のルーバーによって収納スペースの重さが軽減されたクローゼットは、押入がなくなった現代の居住空間の中で、布団はどのように収納されることが望ましいのかを感じさせてくれます。今は夏には夏の羽毛布団という時代。快適な睡眠のためには、様々な天然素材のケットや布団の組み合わせが必須なのです。

1F

gamadan／ガマダンの象徴でもある吹き抜けの青い壁のアーチをくぐった先は、180cm高の特注ヘッドボードをしつらえたベッドのある空間。こちらのフロアではシーツやタオル、ベッドスプレットなど、寝室まわりのインテリア小物やオリジナルのテキスタイルを販売。寝具まわりのファブリックは面積も広く空間の印象を大きく左右します。素材感や配色の組み合わせによって、涼しげにも暖かそうにも見せることが可能なのです。寝室のコーディネートや、プチ･リフォームの相談にも応じています。



B1F

半地下にある、天井高が低めで一般家庭の寝室に近いサイズ感の部屋。大きな開口から得られる光を、どのようにコントロールすれば睡眠の質が上がるのか、また、入浴などによる体温の昇降が入眠に与える影響などを体感することが可能です。さらに、足の裏に優しく感じられる無垢材の心地よさは、天然素材に囲まれると人がどのように落ち着いた気分になるのかを教えてくれます。この部屋は、眠るために必要なものや不要なものについて、改めて考えさせてくれるミニマムな空間なのです。

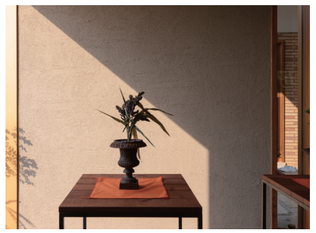
gamadan／ガマダン
ダイニングのこと、ショップのこと

gamadanのフラワーショップ『ボウズアンドスケープス』のこと。

gamadan／ガマダンには、フラワーショップがあります。その名も『BOWS AND SCAPES／ボウズ・アンド・スケープス』。穂を垂れる植物や花茎など、ちょっと変わった植物を連想させる店名ですが、実際に扱っている植物もとっても個性的。ショップオーナーの直江郁哉さんのセンスと見立ては抜群で、既に金沢市内の様々なショップにもここから巣立ったアレンジや鉢モノ、サボテンなどがたくさんあります。花器のラインナップも抜群で、店内に展示してあるスタイルを丸ごと購入されるお客様もしばしば。この店を訪れなければ出会えない植物たちに、癒されに出掛けてみませんか。

直江郁哉

身近に慣れ親しんでいる植物も見方一つで変わったりします。ここでは新しい植物の姿と出逢っていただきたいです。



ガマダン

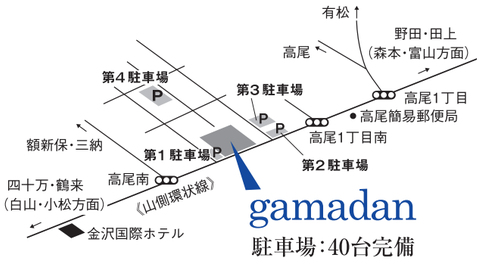
gamadan ／ガマダン

石川県金沢市高尾三丁目 4-1
火曜定休

〇ショップ
tel.076-298-4800
10:00 ～ 19:00

〇ダイニング
tel.076-298-7800
11:30 ～ 19:00

〇フラワーショップ
tel.076-298-0300
10:00 ～ 19:00



石田屋イベントスケジュール

犀川店

8月9日(日)
フェイシャル&ヘッドマッサージ

8月22日(土)
第4回　プリスティンカフェ
HAPPY BODYを作ろう

8月27日(木)～30日(日)
骨格リモデル・育菌リンパかっさセラピー

9月19日(土)～23日(水)
犀川店楽しい秋祭り

9月28日(金)・29日(土)
骨格リモデル・育菌リンパかっさセラピー

10月8日(木)～12日(月)
仕立ての一衣舎
着心地を楽しむきもの展

10月24日(土)～11月3日(火)
秋のギャッベ展

10月30日(金)・31日(土)
骨格リモデル・育菌リンパかっさセラピー

A・UN店

8月6日(木)～9日(日)
アウン健康の会

8月8日(土)～31日(月)
小さなギャッベ展

9月9日(水)～23日(水)
カンボジアの万能布　クロマー展

10月1日(木)～4日(日)
アウン健康の会
整体・足型健康チェック・水素水の会

10月7日(水)～19日(月)
真木テキスタイルスタジオ展

gamadan／ガマダン

8月22日(土)
gamadanビアガーデン

9月／福井シェフの糖質カット講座

9月5日(土)(毎月第1土曜日)
100万人のクラシックライブ

9月19日(土)
Spannko　アルバムリリースライブ
SPANNKOSMO「ココロ／カタチ」

10月／中田 誠　陶展

和座店

8月7日(金)～8月9日(日)
足型健康チェック
アーチサポートインソール体験

8月7日(金)・8月8日(土)
自宅で作れる!
ミネラル還元水素水

9月16日(水)・17日(土)
フェイシャル&ヘッドマッサージ

10月2日(金)～10月4日(日)
足型健康チェック
アーチサポートインソール体験

10月2日(金)・3日(土)
自宅で作れる!
ミネラル還元水素水

8月22日(土)・23日(日)
ギャッベ展 in 富山
「ギャラリー樫亭」

石田屋
www.ishitaya.com

犀川店
金沢市清川町1-1
076-280-4800
11:00～19:00
火曜定休
【お盆休み】
8月11日～13日

A・UN店
めいてつエムザ8階
076-260-2627
10:00～20:00
休みはめいてつ・エムザに準ずる
8月24日・25日

和座店
能美市大成町リ56
0761-55-3737
10:00～19:00
火曜定休
8月10日～12日

gamadan／ガマダン
石川県金沢市高尾三丁目4-1
076-298-4800
10:00～19:00
火曜定休
8月10日～12日

金沢オフィス
金沢市額乙丸町ニ259

次号／「眠音 vol.35 2015 秋号」は10月1日発刊予定です

〈 編集後記 〉

待望のgamadan／ガマダン。
期待以上の結果を出している。
協力してくださった、
すべての皆さんに感謝です。
そして、さらにレベルアップした
次なる作品の創作に
取りかかっている会長です～(笑)

田中和昭

gamadan／ガマダンがオープンして2カ月が経ちました。嵐のような2カ月間。泣いたり笑ったりでスタッフ皆でやってきました。いよいよこれから!!
gamadan／ガマダンがスタートしました。

大道めぐみ

gamadan／ガマダンの大きな窓から翳る光が時間と共に美しい影を描き落としています。季節や時間によって訪れる光とお客様をお迎えするのが楽しみです。

高倉奈緒

モノが作られる工程には、思いを巡らせ考える人、丁寧な仕事でそれを形にする人、いろんな人が存在する。建築も、寝具も、料理も、花も、同じ。gamadan／ガマダンには、たくさんの思いとエピソードが詰まっている。

丹羽麻理

今、新店舗でたくさんのお客様と出逢い、お話する毎日が楽しい。ガマダン・ガーデンの水やりと草むしり、ダイニングでのいろいろ。今までに経験したことの無いことを楽しむありがたい毎日。次は何がやってくるだろう。どんな方々と出逢えるだろう。これからも素敵な日々を作っていこう。

田中佳美